

地域づくりでの「若者の挑戦」報告に感動

——信越県境地域づくり交流会イン飯山



上越市の松川奈々子さんの伝統芸能保存や郷土食、介護問題などの報告も注目されました。

信越県境地域づくり交流会が9月28日、飯山市で開催されました。今回は第6回目、テーマは「スローフードと地域づくり」です。

私は市議会総務常任委員会の会議が終わったからの参加となりましたが、トークセッション「地域の食文化を育む若者の挑戦」を聴くことができました。

パネリストは飯山市の農業女子・木内マミさん、津南町の保育アドバイザー・諸岡江美子さん、上越市のNPO法人かみえち山里ファン倶楽部の松川奈々子さん、野沢温泉村でシエフをやっている片桐健策さんの4人。それぞれが自己紹介と活動報告をし、その後、岩佐十良さんのコーディネートのもとに

意見交換しました。

最近では都会育ちの人が農山村に入り大活躍しています。今回、私が注目したのは「生まれも育ちも地元」の人たちの地元の魅力再発見と地域づくりの挑戦です。

木内さんはアメリカでの生活を2年する中で「飯山の良さを知った」とのことでした。現在、畑作をやりながら農業体験などに取り組んでいます。「自分の体が土いじりを求めている」「野菜も生きています。すべてがカラフルでアートだ」「子どもたちには五感でいろいろな体験をしてもらいたい」との言葉が新鮮でした。木内さんの「ひぐらし農場」へ一度伺いたいものです。

片桐さんはスロースelectionから大阪で修業をし、野沢温泉に戻って、家業を継ぎ、シエフをやりながら経営者の卵として頑張っている青年です。片桐さんが持っている地域への熱い思いは、「地域の伝統食・文化や土壌を世界に発信し、私たちにしか表現できない新たな価値を付加し、再定義する」ということでしか味おえない驚きと感動を提供するなどの言葉に表現されていました。



【クロホウズキ】オオセンナリの園芸種で、ナス科の1年草。漢字で「黒鬼灯」と書きます。朝、歩いていて道路脇で見つけました。誰かが植えたのでしょうか。花期は7月～9月。花言葉は、「可憐な愛」。9月30日、撮影。

橋本議員が4議案で反対討論



9月27日の市議会本会議で、日本共産党議員団の橋本正幸議員は、「平成29年度上越市一般会計歳入歳出決算」、「上越市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」などの4決算議案について反対討論を行いました。

このうち昨年度の一般会計歳入歳出決算については、「子ども医療費助成の拡充や商店リニューアル助成制度、住宅リフォーム促進事業等が地域経済の活性化を図る積極的な取り組みである」と評価できるものの、その一方で、「昨年3月議会における予算審議の際に指摘した、財政調整基金を過度に積み立てながら行政サービスのリストラを行っていること、市民の意思を十分確認することなしに上越市体操アリーナの建設を進めたこと」などをあげて反対理由としました。

また、市民のいのちと健康を守るべき国民健康保険特別会計など3決算についても「依然として高水準の保険税、保険料を市民に押し付け、給付の段階でもさらに重い負担を強いる仕組みを続けてきた」として認定に反対しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1878 2018.10.7
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら


春よ来い

第五二六回 ついについに

予定変更がよいことにつながることもあるんですね。先日、楽しみにしていた地元酒まつりが台風の影響で中止となり、急きよ、介護老人保健施設・保倉の里まつりに参加することにしました。

参加することにしたのは、もう二年くらい会っていない親戚のT子さんの顔を見に行きたいと思っていたからです。

まったりは午後一時から。一時一五分前頃、受付を通過して二階に上がると、大平のTさんなどと会いました。廊下からホールまですごい混みようです。

ホールの方に向かって歩き始めたときでした。「あらまあ」といった表情で私に声をかけてくださった女性がいました。大きな目を見て、すぐにSさんだとわかりました。私が尾神に住んでいたときに私の頭を刈ってくださった人だからです。

Sさんと話し始めて一分も経たないうちに、ステッキカーを押して、ニコニコしながら私のそばにきた人がいました。母と同郷の「ハヤシ」(屋号)のお母さんです。私の手を握ると、「エッさん、達者かい」。私は、「はい、お陰さんで達者だね。悪いときもあるぞ」と答えました。そして、かつては読んでもらっていた私のレポートを一枚渡すと、「ハヤシ」のお母さんは大喜びしてくださいました。

「ハヤシ」のお母さんとひとしきり話した後、Sさんと再び話をしました。

Sさんの亡くなったお連れ合いが仕事をしておられた石谷の畑付近で先日、人の姿を見かけ、お父さんかと思ったという話をした後、「ところで、おまんだ親類の町田のお母さん元気かいね」と言うのと、「ここにいるがね」と言われてびつくりしました。なんと、なんとSさんの隣の席で話をじっと聴いていた女性が町田のお母さん、

Fさんだったのです。ほつぺたのまわりが少しふくらんでいたものだから、私は山直海のTさんだと勘違いしていました。

そうこうしているうちに、今度は私のことを知っている職員さんが親戚のT子さんを私のところまで連れてきてくださいました。事前連絡なしで訪問したこともあって、T子さんも喜び、声を弾ませて、「おばあちゃん、元気かね。おばあちゃんに会いたい」と言いました。

午後二時半過ぎからは長寿の祝いの表彰式です。高橋先生が一一歳のWさんなどの対象者に次々と賞状を渡されました。そのなかにはヨネさん、シゲコさん、ワスケさん、T子さんなどの姿がありました。みなさん、顔の色つやがよかったですね。

表彰式、そして地元の小中学校のみなさんの演奏、ダンスなどの様子を写真に収めていたところ、私のすぐ隣にいた男性から挨拶されました。赤沢のIさんです。

見ると、すぐそばには私の父と同年のキヨノさんがおられるじゃありませんか。たしか九一歳、一〇年くらい前までは毎週のように私とおしゃべりをしていた間柄です。このお母さんも私のレポートをよく読んでいてくださり、口癖のように「いつもいろいろ教えてくんなくてありがとね」と言ってくれたものです。

キヨノさんは私のことがわかったようで、私に何かを伝えようと必死でした。口元まで耳を寄せると、やっと聴きとれる声で、「教えてください。おたのもうします」。私は涙が出そうになりました。

この日は思いがけなく再会した人が何人もいました。T子さんだったでしょうか、「きょうは、いいこと一つふえた」と言われましたが、私の場合、いいことがいくつもふえました。



写真は許可を得て掲載しました。

【ひなたライブ、今年も】

音楽グループ、「ひなた」のミニライブが9月29日、吉川区のスカイトピア遊ランドで開催されました。

いつも励ましてくるお母さんへの「たかのり」の思いを歌った「大切な人よ」が私の心に響きました。どの曲も聴くだけで元気になります。

上越、吉川には来年も来たいと言ってくれたこの二人、ぜひ頑張ってもらいたいです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	9月26日(水)	10月1日(月)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.040	0.040
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.047	0.043
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.043	0.047

【飯田邸にて】

9月も終わりを迎え、もう10月です。あと2か月もすれば地面は白くなります。

先週の土曜日、大島区菖蒲の飯田邸でコーヒーを飲んできました。毎週土日開催の喫茶室、飲み食いだけでなく、素敵な庭園風景も楽しめます。

